

# グループホーム たんぽぽの家

## 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	一、地域に根ざしたサービス提供 一、心にやさしいサービス提供 一、きめ細やかなサービス提供 との法人の理念を元に事業所独自の理念を作っています。	1. 生の尊厳: 一人一人のこれまでの人生に心から敬意を払い、今、生きておられる「このとき、この一瞬」をなによりも尊重します。 2. 自立の支援: 喜び、悲しみなど、どんな思いにも暖かく接し、ご利用者がみずから進んで生きていくための支えとなります。 3. 日々の研鑽: ご利用者から教えていただく様々なことを自己成長の糧とし、毎日少しずつでも向上していくよう努力します。 との理念の下日々の運営を行ってまいります。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	グループホームに関わる法令の意義を理解し、これを事業理念、運営理念の形で具体化し、パンフレットに掲載、また、ホームの見えやすいところに明示するとともに、介護従事者に日常的に話しています。入居者及び家族への対応について、運営理念を心がけ対応させていただいています。	今後とも職員一同 法人、ホームの運営理念を日々の業務の上で実践してまいります。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入居者及び家族等の眼の届く所に貼り出してあります。また、入居時には、パンフレットを用い、説明させていただいております。重要事項説明書及び契約書、同意書については入居時に入居者及び家族等に説明しています。近隣、地域の方々にホームの運営理念を説明しています。	これからも本人、家族への説明を必要な都度行うとともに、地域の方々へも継続してよりたんぽぽの家をご理解いただけるよう努めてまいります。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日常の挨拶が近隣をはじめとした地域との交流を深める第一歩であるため、隣近所の方だけでなく、通りがかりの人にも積極的に挨拶を行っています。また、ポスター掲示板を使い、ホーム内での行事をお知らせしています。近隣の方も玄関の植木など共通の話題で声をかけてくれたり、こちらからもわからない事は、近所の方に尋ねたりしています。	今後も近隣の方とのコミュニケーションを積極的にとり、地域の一員として貢献できるよう努めてまいります。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	老人会加入によって地域の一員として活動に参加できるよう申し込みをしている。市民センター、小学校、自治会の行事への参加については、ホームから問い合わせる場合もあるが、最近では、地域から情報をいただくことも多くなっています。	地域行事がいくつか重なって行われることもありますが、行事の内容によって、利用者が自分で選択して参加できるよう配慮してまいります。

## グループホーム たんぽぽの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	ホームでの演奏会等の行事を地域に広報していくことにより、地域の高齢者の方にも気軽に立ち寄っていただける雰囲気作りを行っています。		より地域の方との交流が出来るよう積極的に広報活動にも取り組んでまいります。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価により明らかになった課題につき、改善を行っています。		毎年の外部評価、自己評価をもとに更なる業務改善を行ってまいります。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、地域包括支援センターの職員、地域の代表、家族の代表の皆様と多様な内容について話し合いを行い、様々な助言をいただいています。また、その意見を参考に業務の改善に努めています。		毎回の運営推進会議で様々な意見を意見をいただき、サービス向上を目指してまいります。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	現在のところ、運営推進会議以外での市町村担当者ととの交流は持っていません。		市町村の担当とどのような場面で連携を取るべきか、どのように取っていったらいいのか不明な点は多くありますが、このような点も運営推進会議の議題として上げていき、検討していきたいと思います。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	ホーム内研修において勉強会を持ち職員に対し周知をしています。成年後見人制度については、必要と思われる利用者の親族に説明を行い、利用の打診をしたものの、現時点では必要ないとのことで、利用については見送りとなりました。		成年後見制度の必要な利用者については、今後ともご家族との協議を行い、制度を活用していきたいと思います。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者やホーム長が研修会に参加し、ミーティング等の席において職員に周知徹底を図っています。		今後も積極的に講習会などに参加し、虐待防止に努めてまいります。

## グループホーム たんぽぽの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入退居時において、少しでも利用者や家族の不安を取り除けるよう、説明を行っています。特に退居時においては、転居先の選定等にも家族と一緒に当たらせていただいています。</p>		<p>利用者やご家族が安心して入居を決められるよう、また、退居時も問題なく新たな環境に移行していくことが出来るよう支援してまいります。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日常会話の中から不満、意見など聞きだせるよう心がけています。また、意見箱を設置し、利用者や家族に気軽に意見や苦情を言っていたり出来るよう体制を作っていますが、現在のところ利用実績はありません。</p>		<p>利用者が自分の思っていることを積極的に話せるような雰囲気づくりをこれからも心掛けてまいります。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>健康状態については、随時、金銭管理については、補充のあったときに状況の報告を行っております。職員の異動については、管理者、ホーム長、計画作成担当者等主な職員の変更があったときは、お知らせするようにしています。</p>		<p>今後とも利用者の状況、金銭管理についてご家族と密に連携を取ってまいります。また、「たより」(三ヶ月に1回発行)を用いてホーム内の生活の様子などもお知らせしていきます。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者の状況について、適宜報告を行い、意見、要望を承るようにしています。また、意見箱を設置し、利用者や家族に気軽に意見や苦情を言っていたり出来るよう体制を作っていますが、現在のところ利用実績はありません。重要事項説明書にも外部への苦情申し立てについて掲載させていただいております。</p>		<p>こちらからも積極的にご家族に連絡を取り、苦情、ご要望などを伺ってまいります。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月第1火曜日に定例のミーティングを開催し、意見の集約を行っています。また、申し送りノートを用い、職員が気づいたときに意見を表出することが出来るようにしています。</p>		<p>職員間で意見の言いやすい雰囲気作りをこれからも心がけていきます。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>様々な状況に柔軟に対応するため、余裕を持った勤務体制を組んでいます。状況に応じて時間調整を行っています。</p>		<p>利用者本位のホーム運営を基本とし、状況に応じた柔軟な勤務体制作りをこれからも続けていきます。</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>平成18年度はほとんど移動・離職はありませんでした。入職者があった場合にも利用者が慣れるまで他の職員が間に入るなどして対応しています。</p>		<p>職員が働きやすい環境、体制を整備し、離職や移動が少なくなるよう配慮していきます。</p>

## グループホーム たんぽぽの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している</p>	<p>職員採用にあたって、年齢・性別により対象から排除することはありません。</p> <p>勤務体制については、職員がより働きやすい体制の検討を行っています。</p>		<p>今後とも職員の採用に当たっては、性別、年齢を基準としないようにしていきます。</p>
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>ホーム内研修にて啓発を行っています。</p>		<p>ホーム内の研修、ミーティングの際に人権教育、啓発に取り組んでいきます。</p>
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修の情報があつた際、参加希望者を募り、参加していただいています。</p>		<p>職員のスキルアップのため、事業所として出来る限り支援してまいります。</p>
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>福岡県グループホーム協議会に加入し、勉強会等に参加しています。</p> <p>また、旧知の人がいる施設の見学等を行い同業者間の交流を行っています。</p>		<p>他事業所との交流を深め相互のサービスの質の向上を図っていきます。</p>
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>業務を分担し、余裕のある勤務体制を整えることで、管理者や職員が過度のストレスを持つことを防いでいます。</p>		<p>職員が悩みを運営者、管理者、ホーム長に話しやすい環境作りを行っています。</p>
24	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>運営者がほぼ毎日、ホームに来所し、状況の掌握に努めています。</p>		<p>今後も、運営者が積極的に状況掌握に努めていきます。</p>

## グループホーム たんぽぽの家

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	一人一人の利用者の言葉を傾聴し、本人の望むことや訴えを見つけて、個人個人への対応を心掛けています。	これからも利用者の言葉、言葉に出来ない思いを大切に、利用者一人一人が不安なく生活していけるよう支援していきます。
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談に対しては、常に丁寧に対応し、理解がしやすく説明し、不明な事は改めて連絡するように心掛けています。	家族との相互理解、信頼関係の構築をこれからも続けていきます。

## グループホーム たんぽぽの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた際、本人と家族が希望しているサービスを見極め、本人が受け入れられるか、検討した上で、対応するようにしています。		利用者や家族の希望する生活が出来るよう、柔軟な対応を心がけていきます。
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にならぬよう徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	急な申込み等が多く、サービス利用開始前に徐々に馴染める時間をとるのは難しい状況です。事前の見学は行っていただいております。		入居前から職員と顔なじみになれるよう、訪問等を行って行きます。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活の中でそれぞれ役割を持っていただいています(家事、植木の世話等)。また、昔の歌を教えていただいたり、ホーム内に掲示する書を書いていただいております。		運営理念にある通り、これからもご利用者から教えていただく様々なことを自己成長の糧とし、毎日少しずつでも向上していくよう努力します。
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族に対して、行事の呼びかけ等積極的に行っていますが、それぞれの状況もあり、ホームの運営に積極的に関わっていただくまでには、いたっていません。		ご家族にも積極的に利用者との関係をもっていただくため、これからも呼びかけを行ってまいります。また、家族会の設置を検討しています。
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	体調の変化などネガティブな情報だけでなく、行事、見学へともに出かけることの呼びかけを行っています。随時"たより"なども発行し、家族に送付しています。		家族が来所された際、利用者と一緒に過ごすよう配慮して行きます。
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者全員ではありませんが、以前住んでいた地域など馴染みのある場所と一緒にいくなどしています。		本人にとっての馴染みの場所、人との関係の継続を支援していくため、本人の生活歴について本人及び家族より聞き取りをしています。
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員が間に入り、利用者同士が同じ趣味で会話を広げることが出来るよう心がけています。		利用者同士また、職員が家族のように過ごせるよう、勤めてまいります。

## グループホーム たんぽぽの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	利用者が転居した場合、新しい環境に慣れるまで職員が転居先に顔を出すなどしています。		退居後も利用者が新しい環境で安心して生活していけるよう対応していきます。
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居前、また入居後にも利用者や家族から意向を伺い、ホームでの生活に反映できるよう努めています。		利用者本位のホーム運営を行うため、これからも本人や家族の意向の把握に努めていきます。
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族、在宅時のケアマネージャー等関係者から在宅時の状況を教えていただくよう努めています。		関係者から情報を頂くとともに入居前に訪問するなどして、状況の把握に努めていきます。
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	介護日誌にその日利用者がどのように過ごしたか記録しています。 また、特変事項については、申し送りを行ない、職員間で情報の共有に努めています。		正確な記録を行い、それをもとにより良いサービスの提供を行っていきます。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護保険更新時やその他随時、サービス担当者会議を実施し、意見の集約を行い、介護計画に反映しています。		今後も様々な角度からの意見をいただき、介護計画に反映していきます。
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の状況に変化が発生した場合など、必要なときに随時担当者会議を実施して、介護計画の変更を行っています。		介護計画の変更は、定時にとらわれることなく、随時必要に応じて行っていきます。

## グループホーム たんぽぽの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別介護記録にその日の状況など記録を行っています。また、特に気になる点、改善すべき点については、申し送り帳を使用し、職員間で情報の共有を行うと共に、介護計画の見直しに活用しています。		日々の生活の記録を正確に行い、後の介護計画に生かしていきます。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通り一遍等の対応ではなく、利用者の状況、要望によって法人内の他事業所との連携をとりながら、少しでもお答えできるようにしています。		利用者本位のホーム運営を行うため、これからも本人や家族の意向をもとに柔軟な対応をまいります。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	徘徊対策として、消防や警察に利用者名簿を提出しています。また、民生委員、ボランティアの方も頻繁にホームに来所され支援していただいています。		これからも地域の方々などに支援していただけるよう、ホームとしても地域の一員として地域に貢献できるよう勤めてまいります。
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在のところ、 利用の意向はありません。		利用の希望があった際には、柔軟に対応していきます。
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議等の席において、地域包括支援センターの職員の方に利用者の権利擁護について相談しています。		現在、運営推進会議の積でのみの相談となっておりますが、今後、地域包括支援センターとより密な連携を取り、利用者のサービス向上に努めていきます。
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的な受診が出来るよう、通院の支援を行っています。また、利用者によっては、主治医による往診が出来るよう、医療機関とも連携を取り合っており対応しています。		今後も協力医療機関を中心にかかりつけ医と連携を取り合い、利用者が適切な医療を受けられるようにしていきます。

## グループホーム たんぽぽの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	利用者に認知症の進行が認められた場合、かかりつけ医に報告、相談し、必要があれば専門医へ紹介をお願いするようにしています。		医療機関とのネットワークを広げ、利用者がより適切な医療を受けられるよう努めていきます。
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	協力医療機関の看護師が主治医が休み又は連絡が取れないときなど相談に乗ってくれています。		今後も協力関係を強化していきます。
48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	協力医療機関に入院した場合、医師、看護師とも情報を共有する事が出来ています。 他の病院に入院した場合も、頻回に面会を行い、情報の取得、共有に努めています。		医療機関との協力関係を深め、利用者がより適切な医療を受けられ、退院時に混乱なくホームに復帰できるよう努めていきます。
49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	共同生活に耐えられないほどに重度化した場合は、入院する事例がほとんどです。 終末期のあり方については、今後の検討課題となっています。		今後、検討していきたいと思います。
50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在、検討中です。		今後、検討していきたいと思います。
51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	退去前に家族や主治医、転居先の職員と協議を行い、本人に混乱のないように対応しています。		退居時の対応については、今後とも細心の注意をし、利用者に混乱がないよう努めていきます。

## グループホーム たんぽぽの家

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ホーム内の研修にて、職員に周知徹底を行っています。	今後も利用者及び家族の個人情報の取り扱いに関しては、細心の注意をもってあたります。
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	職員との会話の中で利用者が自らの希望を表せるよう配慮し、本人の自己決定により行動が出来るよう支援しています。	利用者が自らの希望を表出しやすい環境作りを今後も続けて生きます。
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	行事等があっても参加はあくまでも本人の希望によるものとし、利用者の思いを中心にホームの運営を行う事が出来るような柔軟な勤務体制作りをしています。	利用者が自分に合った生活リズムで過ごせるよう支援していきます。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	月に一回、理容ボランティアの方に来ていただいています。近所の理容室に行きたいと望む方については、職員が同行しています。また、入居前に住んでいた地域のなじみの理美容室に行く事を希望される方については、家族に協力していただいて、付き添って行ってもらっています。	今後も、現在の体制を継続し、利用者の希望に沿った対応をしていきます。
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	女性利用者には野菜を切る、盛り付ける、食器洗い等一緒に行っています。月に2回おやつづくりを利用者と職員が一緒に行っています。男性利用者にもお盆ふきを手伝っていただいています。	さらに利用者が食事づくりに参加できる機会を増やしていきます。
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつ時間に好みのものを飲めるよう、メニューを壁に掲示し、選べるようにしています。お酒については、希望が無いため飲む機会は作っていません。喫煙については、場所を決めて、いつでも吸えるようにしています。	利用者の希望と健康状態等を勘案しながら、極力利用者の希望に添うようにしていきます。

## グループホーム たんぽぽの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	日中は、声かけ、誘導でその方のパターン、タイミングで排泄出来るよう対応しています。 夜間は、夜用パット、ポータブルトイレ、尿器とそれぞれにあったものを使って安心して排泄できるようにしている。		利用者の状況の変動に合わせて柔軟に対応していきます。
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一応、曜日、時間帯の取り決めはしていますが、利用者の希望により、随時変更をしています。		今後も利用者の希望を重視しつつ衛生が確保できるよう入浴を実施していきます。
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中、居室で休息したり、横になったり利用者自身の意思により自由にしていだけるよう配慮しています。		利用者が自分に合った生活リズムで過ごせるよう支援していきます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事や植木の世話、屋内でのゲームや外出しての買物など利用者一人一人に合わせた楽しみを見出していだけるよう支援しています。		利用者一人一人が生活の中で、楽しみを見出していけるよう支援していきます。
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	全員ではありませんが、所持されています。買物に行く機会を積極的に設けています。		利用者の状態に応じて可能な限り自ら金銭管理が出来るように支援していきます。
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩は天候がよいときは、毎日出かけられるようにしています。 また、個別の外出については利用者の希望により実施しています。		利用者の希望に応じて、自由に外出が出来るよう職員の勤務体制等整備し、支援していきます。
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	地域内の小学校の催し物や、北九州の名所見学等、積極的に行っています。家族にも参加を呼びかけていますが、多忙のよう都合がつかず参加されていません。		利用者の希望に応じて、自由に外出が出来るよう職員の勤務体制等整備し、支援していきます。また、外出などのイベントの際は家族への呼びかけも積極的に行って行きます。

## グループホーム たんぽぽの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話については、本人の希望があればすぐに利用が出来るよう対応しています。		利用者が家族や知人との連絡のやりとりを自由に出来るよう支援していきます。
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族等の訪問があった際には、利用者の居室でゆっくり過ごして頂くため、イスの用意をしています。また、気楽に来ていただけるよう、職員全員が挨拶、声かけを行っています。		ホーム外の方が気軽に訪問できる雰囲気作りを心がけていきます。
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ホーム内の研修にて、職員に周知徹底を行い、拘束のないケアを目指しています。		今後も定期的に研修を行ない、身体拘束撤廃を目指します。
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室には鍵はなく、利用者が自由に出入り出来る様になっています。 また、玄関の鍵も日中は、かけないようにし、見守り、所在確認、職員間の声かけで利用者の安全確保に努めています。		安全確認は職員の見守りで対応し、利用者が閉塞間を感じないように、配慮していきます。
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員同士の声かけ、申し送りでコミュニケーションを図り、利用者の安全確保に努めています。		安全確認は職員の見守りで対応し、利用者が閉塞間を感じないように、配慮していきます。
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	物品をなくす事よりも配置を換えたり、物品等の角を保護するなどして危険防止を図っています。		利用者の入居時の状況の激変を防ぐためにも私物の持込は必要です。 排除ではなく、他の危険防止策を講じるよう努めていきます。
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	マニュアルを作成し、定例のミーティングで確認をしています。 また、消防訓練、心配蘇生法の講習等を通して、緊急時の対応を学んでいます。		今後も定期的に研修、訓練の機会を持ち、緊急時に備えていきます。

## グループホーム たんぽぽの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署に依頼し、ホーム内で消防訓練、心肺蘇生法の講習を実施しました。		今後も定期的に訓練の機会を持ち、緊急時の対応をスムーズに出来るような心掛けていきます。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災、地震、水害等発生時のマニュアルを作成し、掲示等職員への周知徹底を行うとともに、消防訓練、通報訓練を実施しています。		ミーティング等でマニュアルの確認を行い、定期的に訓練の機会を持っていきます。
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	利用者の体調、心の状態の変化に応じて、家族に連絡し、今後の対応について話し合っています。		今後も家族と連携を密にし、利用者にとって最良と思われるサービスの提供を行っていきます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化等があった場合は、ホーム長、管理者に報告し、引き継ぎ、申し送りを確実に行って、職員間の情報の共有を行っています。 また、ホーム内出対応できない場合は、かかりつけ医と密に連携を取り、対応しています。		職員間また関係者との連携を密にし、対応していきます。
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者が服用している薬の説明書等を保存し、職員間で情報の共有に努めています。また、薬の変更のあった場合は、申し送り等で周知徹底をしています。		服薬の意味、利用者の症状を的確に理解し、誤薬等ないように注意していきます。
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事等で食物繊維と水分を十分に取ることを心がけています。 また、座りきりにならないよう、散歩や外出、ラジオ体操などを実施しています。		食生活と運動を心がけていきます。また、かかりつけ医とも連携を密にし、対応していきます。
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアの声かけ、見守り、きれいに磨けているかの確認を行っています。また、本人が磨けない所は職員が介助しています。		記録票などを参照し、利用者がいつ口腔ケアを行ったか、職員間で情報を共有し、磨き忘れ等ないようにしていきます。

## グループホーム たんぽぽの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の体調、希望を確認しながら食事量を設定しています。		利用者の生活習慣を壊すことなく、栄養バランス、水分量が確保できるよう努めていきます。
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成し、定例のミーティングで確認をしています。 また、ホーム内に注意事項を掲示し、実行しています。		今後も定期的にミーティング、ホーム内研修にて周知徹底を行っていきます。
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	マニュアルを作成し、定例のミーティングで確認をしています。 また、台所の壁などに注意事項を掲示し、実践をしています。		今後も定期的にミーティング、ホーム内研修にて周知徹底を行っていきます。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関にその月のホームでの催しものの予定を掲示し、気軽に立ち寄ってもらえるよう呼びかけています。		掲示などを活用し、気軽に立ち寄っていただける雰囲気作りに努めていきます。
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	状況判断と入居者の意見を尊重し、随時、適切に対応しています。 また、毎月利用者と一緒に作成した作品を飾り、季節を感じていただけるようにしています。		今後も、利用者の状況を見つつ、適宜対応していきます。
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関や廊下に椅子を置くことで、一人になれたり、気のあった人とゆっくり過ごせるようにしています。		スペースの問題もあり、限界はありますが、利用者が一人でゆっくり出来る空間作りを行っていきます。

## グループホーム たんぽぽの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッド、エアコン、タンスは備付のものがありますが、それ以外は、ご利用者様の使い慣れたものを持ち込んでいただくようにしています。 危険なものでない限りは、特に持ち込みの制限は行っていません。		入居時の環境の激変を緩和するためにも、私物の受け入れは今後とも積極的に行って行きたいと思います。
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気扇を用いたり、窓の開け閉めをするなどして小まめに換気を行っています。 また、冷暖房はホール、各居室とも職員が入居者の状態に注意を払い、随時、温度調節をしています。		利用者の状態に目を配り、適切な温度設定、換気を行って行きます。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホール、浴室、トイレ等要所に手すりを設置し、利用者が極力職員の介助なしに自立した生活が送れるよう配慮しています。		利用者の自分の判断で安心して移動できるような環境の確保をしていきます。
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室やトイレには、目印となる看板を設置しています。		利用者にわかりやすい目印を設置し、混乱の内容に配慮していきます。
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外壁沿いや中庭に花を植え、利用者にも世話をさせていただいています。		今後も季節の花などを植え、利用者とともに世話をしたりして、楽しんでいただきたいと思います。

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

1年目は、運営の基本を築くことに力を傾注したため、利用者の方々には満足してもらえない日々がありましたが、職員とのコミュニケーションを密に図り、信頼関係作りに力を入れました。

2年目では、生活の中に楽しみ(レク、ボーリング、ダーツ、ちぎり絵、おやつ作り)、生活している実感(植木の水やり、部屋の掃除、食事の準備、地域の行事の参加)を得ることができ、充実した日々を過ごせるよう援助してきました。

これからは、定例の行事を実施、地域の行事に積極的に参加していくとともに、一人一人の生活歴などから利用者の方の望むこと(したい事、行きたい所、してもらいたい事など)を行事の中に組み込んで対応していきたいと準備、検討中です。

利用者の皆様が楽しみをすることで、生きがいを持つ事が出来るよう援助してまいります。